

**寄贈図書リスト**

宇宙生物学入門, P. ウルムシュナイダー著, 須藤靖, 田中深一郎, 他 訳, A5判, 345頁, 3,900円+税, シュプリンガー・ジャパン  
目からウロコの宇宙論入門, 福江 純, A5判, 212頁, 2,400円+税, ミネルバ書房

絶対帰還, クリス・ジョーンズ著, 河野純治 訳, 四六判, 486頁, 光文社, 2,300円+税  
見えない宇宙, ダン・フーパー著, 柳下貢崇 訳, 四六判, 304頁, 日経BP出版社, 2,200円+税

書評をご執筆の方には, 上記の図書を差し上げます。  
ご希望の方は [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) まで。

**月報だより**

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

**人事公募**

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

**京都産業大学教員 (観測天文学)**

1. 准教授, 助教, または教授 1名
2. (1) 理学部物理科学科  
(2) 京都市北区
3. 観測天文学
4. 観測および装置開発を通じて, 本学が設置を進める教育研究用天文台の積極的な活用寄予すること。担当科目は基礎物理学実験および, 天文学を含む物理科学科専門教育科目, 全学共通教育科目など
5. (1) 2009年4月1日  
(2) 定年は65歳。助教は1年契約で5年まで
6. 博士の学位を有すること
7. ○履歴書 (指定様式あり), ○研究業績リスト, ○主要論文別刷5編まで, ○外部資金の実績状況, ○これまでの研究概要と今後の計画, ○教育に対する抱負, ○学位証明書, ○照会可能者2名の連絡先, ○本人連絡先
8. 2008年11月10日 (月) 必着
9. (1) 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

京都産業大学理学部事務室

(2) 京都産業大学理学部物理科学科

主任 谷川正幸

Tel: 075-705-1643

email: [rigaku-koubo@cc.kyoto-su.ac.jp](mailto:rigaku-koubo@cc.kyoto-su.ac.jp)

10. 封筒に「教員応募書類在中」と朱書き, 簡易書留でお送り下さい。応募書類は返却しません。
11. 詳細については以下を参照  
<http://www.kyoto-su.ac.jp/department/sc/kyoin/>

**研究助成****第1回 (平成20年度) 宇宙科学奨励賞**

財団法人宇宙科学振興会では, 宇宙科学分野で優れた研究業績を上げ, 宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を表彰するために, 今年度より宇宙科学奨励賞を創設いたしました。詳細な募集要項は当財団のホームページ (<http://www.spss.or.jp>) に掲載しておりますのでご参考の上, 本年10月15日までに候補者をご推薦いただくようお願いいたします。

本奨励賞は宇宙理学 (地上観測を除く) 分野および宇宙工学分野で独創的な研究を行い, 宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者を表彰します。候補者は日本の研究機関に所属し, 上記分野で優れた業績を上げた37歳以下 (当該年度の4月1日現在) の若手研究者個人といたします。業績の審査は, 推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて, 当財団が設置する選考委員会において行います。

授賞は毎年宇宙物理学関係1名、宇宙工学関係1名とします(ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合があります)。受賞者には本賞(表彰状と表彰楯)と副賞(20万円)が贈られます。推薦締切日は2008年10月15日(水)必着です。推薦はすべて他薦といたします(自薦は受け付けません)。推薦に当たっては当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)より推薦用書式をダウンロードし、必要事項を記入の上、必要な添付書類とともに期日までに当財団事務局宛てに郵送願います。封書に「宇宙科学奨励賞推薦書在中」と朱書して下さい。

問合せ先および推薦書送付先:

〒229-8510 神奈川県相模原市吉野台 3-1-1  
財団法人宇宙科学振興会事務局  
Tel: 042-751-1126 Fax: 042-751-2165  
e-mail: admin@spss.or.jp

## 山田科学振興財団

### 2009年度研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2009年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので2009年2月末日(金)必着までに日本天文学会宛に提出して下さい。

1. 援助の対象: 自然科学の基礎的研究(実用指向研究は対象外)

◎研究援助趣旨

- 1) 萌芽的・独創的研究
- 2) 新規研究グループで実施される研究
- 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
- 4) 国際協力研究

2. 援助の金額: 1件当たり100~500万円の援助を15件程度。(援助金の使用期間は贈呈した年度およびその次の年度の計2年間とします。)

3. 推薦件数: 1学会ごとに2件以内。

★2009年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙はすべて下記ホームページ上に添付されております。

山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

## 研究会・集案案内

### 第1回 LISA-DECIGO 国際ワークショップ

将来の天文学発展の鍵を握る『スペース重力波アン

テナ』に関する、欧米の LISA 計画と日本の DECIGO 計画(現在推進中の地上重力波検出器 LCGT につづく計画)が、初のジョイント・ワークショップを開催します。

日時: 11月12日(水)、13日(木)

場所: JAXA/ISAS, 相模原

ただ今、参加者、講演募集中です。詳しくは <http://tamago.mtk.nao.ac.jp/decigo/LISA-DECIGO.html> をご覧下さい。

川村静児(国立天文台)

### Optics & Photonics Japan 2008 参加募集

「サステナビリティ・フォトリクス  
—持続発展可能な社会を目指して—」

日本光学会では、毎年、学術講演会(Optics Japan から Optics & Photonics Japan: OPJ に2006年度より改称)を開催しており、今年で17回を迎えます。本講演会は光学および光技術に関する研究発表の場であると同時に、わが国の光学分野における新たな情報発信の場として広く認識されております。光を科学する、光で科学する研究をすべて対象としておりますので、奮ってご参加下さい。

日時: 2008年11月4日(火)10:00~18:00(予定)  
(講演会終了後に懇親会)

11月5日(水)9:30~18:00(予定)

11月6日(木)9:30~16:30(予定)

場所: つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

<http://www.epochal.or.jp/>

主催: 日本光学会(応用物理学会)

協賛: 日本天文学会、日本物理学会、レーザー学会、など

参加申込: 参加申込みをインターネットでのみ受け付けます。事前の申込手続きは10月3日(金)までです。

問合せ先: OPJ2008 事務局

〒164-0003 東京都中野区東中野 4-27-37

(株)アドスリー内

Tel: 03-5925-2840 Fax: 03-5925-2913

e-mail: [opj@opt-j.com](mailto:opj@opt-j.com)

ホームページ: <http://www.opt-j.com/opj2008/>

(展示に関するお問い合わせ・お申込みは、アドコム・メディア(株) Tel: 03-3367-0571)

## 会務案内

### 2008年度日本天文学会林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2008年11月20日(木)(必着)です。下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送して下さい(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記して下さい。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会年会の春季通常総会(2009年3月25日か26日、大阪府立大学)にて行う予定です。

#### 2008年度(第13回)林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等: 広い意味での天文学(天体物理学, 宇宙物理学, 他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数: 原則として各年に1件。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式: 表題は「2008年度林 忠四郎賞候補者推薦書」として下さい。前年度の被推薦者は、今年度再度推薦がない場合においても選考の対象とします。しかし、変更などがある場合は改めて推薦書を提出して下さい。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補者(被推薦者, 連名授賞可)について: 氏名(ふりがな), 生年月日, 大学卒業年, 現職および連絡先(電話, Fax, e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト

- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

#### 2008年度(第13回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等: 原則として過去5年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての各共著者)に授与する。

授賞件数等: 原則として1年に2件以内。賞状を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2008年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」として下さい。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 筆頭著者名, 出版された巻, ページ, 発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職・連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) e-mailで応募する場合は jim@asj.or.jp 宛に出して、受領した返事を必ずもらって下さい。

#### 2008年度研究奨励賞(第20回)受賞候補者の推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(本年度は2008年1月1日)で35歳以下の者であって、毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

- (1) 締切: 2008年11月20日(木) 必着
- (2) 提出書類: ○候補者氏名, 現職, 生年月日, ○授賞対象とする研究の表題(英語表記も),

○推薦者の氏名、現職連絡先、○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2-3枚程度の本文)、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

(3) 提出先:

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台内  
日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では、推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を評議員会に推薦します。

## 2008年度(第8回)天文功労賞候補者の推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を評議員会に推薦します。

天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、功績名(1行程度)、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp)にお送り下さい。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2008年12月31日までに送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

## 編集委員会より

### 博士・修士論文タイトル一覧記事について

毎年恒例の「博士・修士論文タイトル一覧」ですが、本号604-615ページに2007年度分を掲載いたしました。これは、「天文・天体物理物理若手の会」がその所属機関からの提出原稿をもとに自主編纂したものです。したがって、該当年度に全国で取得された「すべての」修士・博士論文を網羅したものを日本天文学会として保証するものではないことにご留意下さい。毎年、このリストを掲載すると「うちの院生の〇×君の論文が載っていない」あるいは「うちの大学院が全く載っていないのはおかしい!」などのお叱りを月報編集委員会が受けます。残念ながら、これは、若手の会からの原稿提出への呼びかけに対して、一部の大学の若手の会会員が答えていない(もしくは提出したリストに漏れがある)ことに起因しています。あるいは、そもそも若手の会の所属機関でないということも考えられます。リストを参照される読者におかれましては、その点ご理解いただきたいと思います。

和田桂一(天文月報編集長)

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード vol98 の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌〇〇〇〇〇—▲」の〇〇〇〇〇の部分です。

和田桂一(編集長)、浅井 歩、今西昌俊、衣笠健三、齋藤正雄、寺田幸功、戸谷友則、三好 真、矢野太平、吉田直紀  
平成20年9月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

©社団法人日本天文学会 2008年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)